



◎理解を深めて

精神の病気に対して正しい知識を持ってもらい、精神障害者に対する理解を深めてもらおうと、市役所市民ロビーで「こころの健康パネル展」が開催されました。期間中、作業所・支援センター・当事者会・家族会・ボランティアの会・病院やクリニックなどの活動紹介パネルや作業所で作られた作品などが展示され、市役所を訪れた人が足を止めていました。(2月14日～18日)



◎「福祉委員会」ってなあ～に？

松原市内の福祉委員会の活動を知ってもらおうと、市役所市民ロビーで各地区の福祉委員会活動を紹介したパネル展とふれあい喫茶や作品作りなどの実演が行われ、市役所を訪れた人が足を止め、理解を深めていました。(1月31日～2月4日)



◎全国大会でも活躍を

3月29日から千葉県で開催される「第10回全国小学生ソフトテニス大会」(主催：財日本ソフトテニス連盟)ダブルス男子4年生以下の部に天美南小学校4年生の山根吉平さん(天美東)が出場することになり、澤井宏文市長から「がんばる市民応援金」が手渡されました。山根さんは1月16日に開催された同大会の大阪府予選で準優勝。全国大会への出場権を手に入れました。(2月7日)

◎先人の心にふれる

『NPO発! 「市民のまなび」応援事業』として松原公民館で「松原のいっただえ～民話と歴史～」が開催されました。市の他、松原の郷土を知る会、松原市人権啓発推進協議会が主催したこの講座には約30人が参加。参加者は講師の加藤孜子さんの民話についてのお話に耳を傾けていました。(2月19日)





◎宇宙飛行士と交信成功

府立松原高校(三宅東)で地球の上空約400キロを周回する国際宇宙ステーション(ISS)に滞在している宇宙飛行士と市内の小中学生22人がアマチュア無線で直接交信する「ARISS(Amateur Radio on the ISS)スクールコンタクト」が行われました。約10分の交信時間の中に子どもたちは「UFOを見ることがありますか?」、「宇宙から見た地球の景色はきれいですか?」などそれぞれ用意していた質問を英語で次々と宇宙飛行士に行いました。(2月14日)

◎みんなのまちをみんなできれいに

市内各種25団体の協力で実施された「きれいなまちづくり美化キャンペーン」には、市民ボランティアなど約220人が参加し、主要幹線道路などのポイ捨てごみなどを回収しました。この日は約2.4トンのごみが回収されました。(2月20日)



◎いたずら鬼と一緒に退治

市消防本部は、みんなで協力して災害に立ち向かうことの大切さを学んでもらおうと、「防火豆まき」を中央幼稚園で行いました。約60人の園児たちは消火の邪魔をする鬼に「鬼は外!」と元気いっぱい声をあげ、消防隊員と力を合わせて、いたずら鬼を退治しました。(2月3日)



◎防火図画で入賞

昨年9月に行われた松原市児童・生徒防火図画審査会で選ばれた優秀作10点を大阪府児童・生徒防火図画に応募したところ、府内各学校から応募された17,590点の作品の中から、松原中学校2年生の藤田悠衣花さんの作品が財大阪府消防協会会長賞に選ばれました。(1月26日)